

2010年レーザー級、ラジアル級（女子）、ラジアル級（男子）、  
ラジアル級ユース（男子・女子）、4.7級（男子・女子）  
世界選手権等代表選手選考方針および2010年度ナショナルチーム等  
選考方針ならびにJSAF補助対象選手選考方針

1. 世界選手権代表選手選考方法

2010年レーザー級、ラジアル級（女子）、ラジアル級（男子）、ラジアル級ユース（男子・女子）、4.7級（男子・女子）世界選手権の代表選考大会を下記記載大会の成績上位者から選考します。なおILCA通知の各級総参加枠数の最終決定前に選考大会が行われた場合についても、下記記載の参加枠配分率（配分数）で選考枠を決定します。正式な参加枠発表後に各大会へ選考枠数を再配分します。

\*各大会における参加枠配分率（配分数）は一覧表に記載

- (1) 選考大会
- |                                      |                 |
|--------------------------------------|-----------------|
| ①2009年レーザー級全日本選手権大会                  | (10月 和歌山県・和歌山市) |
| ②2009年ラジアル級全日本兼全日本レディース兼4.7級全日本選手権大会 | (11月 神奈川県・藤沢市)  |
| ③2010年ミッドウィンター選手権                    | (1月 佐賀県・唐津市)    |
| ④2010年ナショナルチーム選考レース                  | (2月 鹿児島県・鹿屋市)   |
| ⑤2010年レーザーラジアルスプリングレガッタ              | (4月 神奈川県・藤沢市)   |

(2) 各級選考大会及び選考枠数

選考大会一覧表 参照

(3) その他

ア. 選考大会成立レース数について

・選考大会における成立レース数が3レース未満の大会は、選考大会対象外とし、3レース以上成立した上記記載(1)選考大会の成績から選考します。選考大会が複数ある場合は大会番号の若い順から選考します。

イ. 選考資格者がその資格を辞退した場合について

・辞退者の選考された大会の最終成績順に下位選手へ繰り下げる。それでも対象者がいない場合は、1.(1)選考大会記載の他の選考大会の最終成績順に下位選手へ繰り下げる。選考大会が複数ある場合は大会番号の若い順から選考する。

ウ. 参加枠配分率について

・小数点以下については四捨五入で算定する。

エ. 4.7級については2009年11月実施のユース五輪アジア地区枠獲得選手権大会において、日本代表国枠（バイト級）を獲得した場合に限り、その選手に対し2010年4.7級世界選手権参加資格を与える。

各級選考大会及び選考枠数（選考大会一覧表）

	① 2009 年 レーザー級全 日本	② 2009 年 ラジアル級 4.7 級 全日本	③ 2010 年 ミッドウインター	④ 2010 年 ナショナルチーム選考	⑤ 2010 年 ラジアルスプリング レガッタ
スタンダード	1 枠		日本国枠総数 から①、④を除 いた枠数	3 枠	
ラジアル（女子）		1 枠	日本国枠総数 から②、④を除 いた残枠数	2 枠	
ラジアル（男子）		2 枠	日本国枠総数 から②を除い た残枠数の 60%		日本国枠総数 から②を除い た残枠数の 40%
ラジアルユース （男子）		2 枠	日本国枠総数 から②を除い た残枠数の 60%		日本国枠総数 から②を除い た残枠数の 40%
ラジアルユース （女子）		2 枠	日本国枠総数 から②を除い た残枠数の 60%		日本国枠総数 から②を除い た残枠数の 40%
4.7（男子）		2 枠	日本国枠総数 から②、および （3）その他エ を除いた枠数		
4.7（女子）		1 枠	日本国枠総数 から②および （3）その他エ を除いた枠数		

2. 2010年度 JSAF ナショナルチーム選考方法（オリンピック艇種）

2010年度 JSAF ナショナルチーム（スタンダード級、ラジアル級女子）選考レースにて実施される。なお詳細については2010年度ナショナルチーム選考レース公示参照のこと。

\* 2010年度 JSAF ナショナルチーム選手は対象艇種の世界選手権代表枠保有者であることが条件となります。

### 3. 2010年度JSAF補助対象選手選考方法（ラジアル級ユース世界選手権 男子・女子）

ラジアル級ユース世界選手権代表選手の中から、JSAF補助対象選手を選考し競技力向上委員会に推薦します。

#### (1) 実施期間・場所

詳細は別途通知。

第1回：3月JSAFユース強化合宿（和歌山）

第2回：4～6月に実施予定の強化合宿

#### (2) 選考対象者

レーザーラジアル級（ユース男子、ユース女子）世界選手権代表権獲得者

#### (3) 選考内容

JSAF補助対象選手 ラジアル級5名

#### (4) 選考方法

JSAF補助対象選手選考方法：

下記(5)の①から③までの成績を基に個人ランキングを作成、この上位者から選考委員会において補助対象選手を決定

#### (5) 選考対象大会、審査項目・内容

①世界選手権選考大会（ラジアル級全日本、ミッドウィンター、スプリングレガッタ）で獲得した総合成績を使用する。なお複数大会に出場した選手についてはベスト2大会のポイントを使用。

##### \*選考大会達成率（相対評価）

世界選手権代表選手は、異なる大会から選出されるため、出場艇数が異なると想定される。このため各大会における総合成績に対しての獲得最終順位から相対評価を表し、その値を達成率として使用する。

#### ②身体能力測定

別紙に定める運動能力測定を実施し、選考判断基準に加える

\*運動能力測定については、強化合宿、練習期間中に実施

#### ③合宿内選考

海上 / 陸上練習からアスリートとして必修である項目について選考委員が評価を行い、選考判断基準に加える。

\*3月JSAFユース強化合宿にて実施されるISAFユースワールド選考大会成績も判断基準に加える

\*審査項目、選手の評価状況について開示を行い、望むべき方向にむけたアドバイス、個別ミーティングを随時行う

#### (6) 選考委員会について

選考委員会の構成はレーザー協会強化委員長、強化副委員長、及びユース担当コーチ、強化委員会依頼のコーチで構成される。

#### 4. 2010年度JSAF補助対象選手（4.7級）選考方法

4.7級世界選手権代表者の内5名について下記基準を基に、補助対象選手としてJSAF競技力向上委員会に推薦する。男子/女子、合計5名

- (1) 4.7級全日本選手権大会最終成績上位者
- (2) 上記1.(3)その他エ.対象者
- (3) 上記(1)、(2)を日本国総枠数から除いたミッドウィンター選手権大会成績上位者
- (4) 世界選手権事前強化合宿（2010年3月20日～22日予定）参加代表選手
  - ①身体能力測定  
別紙に定める運動能力測定を実施し、選考判断基準に加える  
\*運動能力測定については、強化合宿、練習期間中に実施
  - ②合宿内選考  
海上/陸上練習からアスリートとして必修である項目について選考委員が評価を行い、選考判断基準に加える。
- (5) 選考委員会について  
選考委員会の構成はレーザー協会強化委員長、強化副委員長、及びユース担当コーチ、強化委員会依頼のコーチで構成される。

#### 5. その他

- (1) その他国際大会派遣について  
選考大会が実施できない場合で、派遣の必要が生じた場合には、本選考方針を基に選考委員会  
が選手を決定し、JSAFに推薦する。
- (2) なお本件についての質疑等については、レーザークラス協会強化委員会あてメール、FAX  
にて問い合わせください。  
日本レーザークラス協会強化委員会 佐々木共之  
電子メール アドレス : [ilcajpn@cityfujisawa.ne.jp](mailto:ilcajpn@cityfujisawa.ne.jp)  
FAX : 0467-76-1052

以 上